# 平成27年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年８月７日

上 場 会 社 名　鬼怒川ゴム工業株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　５１９６　URL　http://www.kinugawa-rubber.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）関 山 定 男
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　（氏名）嶋 津 智 昭　(TEL)043(259)3114
四半期報告書提出予定日　平成26年８月７日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

## １．平成27年３月期第１四半期の連結業績（平成26年４月１日～平成26年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年３月期第１四半期 | 17,682 | 1.4 | 1,332 | △14.3 | 1,257 | △33.4 | 694 | △41.1 |
| 26年３月期第１四半期 | 17,432 | 2.9 | 1,555 | △17.4 | 1,887 | △3.3 | 1,178 | △0.6 |

(注)包括利益　27年３月期第１四半期　203 百万円（△90.4%）　26年３月期第１四半期　2,130 百万円（16.6%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円　銭 | 円　銭 |
| 27年３月期第１四半期 | 10.33 | 10.31 |
| 26年３月期第１四半期 | 17.53 | 17.51 |

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年３月期第１四半期 | 61,855 | 30,732 | 48.1 |
| 26年３月期 | 61,038 | 31,535 | 50.0 |

(参考)自己資本　27年３月期第１四半期 29,732 百万円　26年３月期 30,511 百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 |
| 26年３月期 | ― | 4.00 | ― | 5.00 | 9.00 |
| 27年３月期 | ― | | | | |
| 27年３月期(予想) | | 5.00 | ― | 5.00 | 10.00 |

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．平成27年３月期の連結業績予想（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円　銭 |
| 第２四半期(累計) | 36,500 | 0.0 | 3,200 | △12.9 | 3,200 | △20.8 | 1,700 | △25.6 | 25.29 |
| 通期 | 76,500 | 2.6 | 8,600 | 17.9 | 8,600 | 6.4 | 5,000 | 6.5 | 74.38 |

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

・第２四半期(累計)業績予想について

平成26年５月９日の公表時点では、第２四半期(累計)業績予想を公表しておりませんでしたが、最新の得意先売上予測に基づき算定したため公表致します。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年３月期１Ｑ | 67,299,522株 | 26年３月期 | 67,299,522株 |
| ②　期末自己株式数 | 27年３月期１Ｑ | 80,389株 | 26年３月期 | 79,060株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 27年３月期１Ｑ | 67,219,443株 | 26年３月期１Ｑ | 67,232,323株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……11
（セグメント情報等） ……11
※平成27年３月期第１四半期決算概要（参考資料）

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げによる影響はあったものの、緩やかな回復傾向で推移いたしました。また、海外では米国及び中国の景気が好調に推移した一方で、一部の新興国経済は不安定な状態が続いております。

当社グループの主要得意先の自動車生産は、前年同期比で国内は約１割の減少、海外は中国及び米州が約２割の増加、グローバルでは微増となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、為替変動による売上の増加約７億円を含め１７６億８千２百万円（前年同期比1.4％増）となりました。損益につきましては、資材調達や生産性向上などの合理化が米州の収益改善に効果をあげましたが、日本及びタイでの生産の減少や、前期に計上した為替差益がなくなった影響などにより、営業利益は１３億３千２百万円（前年同期比14.3％減）、経常利益は１２億５千７百万円（前年同期比33.4％減）、四半期純利益は６億９千４百万円（前年同期比41.1％減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

［ 日本 ］

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、１０４億３千１百万円（前年同期比2.6％減）となりました。営業利益は、操業度の低下と製品構成の変化により、７億４千８百万円（前年同期比26.7％減）となりました。

［ 米州 ］

売上高は、メキシコ拠点の操業度の上昇及び主要得意先の自動車生産台数の増加により、３０億６千３百万円（前年同期比36.2％増）となりました。営業利益は、生産性の向上や歩留り上昇などの改善活動の効果により、７千万円（前年同期は８千７百万円の損失）となりました。

［ アジア ］

売上高は、タイでの生産の減少により、４１億８千８百万円（前年同期比6.4％減）となりました。営業利益は、操業度の低下や新拠点での新車部品生産立上げに伴うロスにより、４億９千７百万円（前年同期比15.5％減）となりました。

なお、前期に発生した米州・タイでの新車部品生産立上げに伴うロスと生産遅れに伴う臨時便による輸送費ロスについては、全社を挙げた生産準備活動及び生産管理システムの整備・充実により、大幅に削減することが出来ました。

また、新拠点の準備についても、当初からの生産・品質・設備・教育に関わるマニュアルの導入と、徹底した進捗管理の実施により計画通りに進めております。

## （２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて受取手形及び売掛金が１億４千８百万円増加したことなどにより、７億２千５百万円増加の３２５億４千５百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が２億４千３百万円増加したことなどにより、９千１百万円増加の２９３億１千万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて８億１千７百万円増加の６１８億５千５百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて短期借入金が９億８千８百万円増加したことなどにより、１１億６千万円増加の２０１億９千５百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が１億６千６百万円減少、退職給付に係る負債が６億２千９百万円増加したことなどにより、４億５千９百万円増加の１０９億２千８百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて１６億１千９百万円増加の３１１億２千３百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が３億９百万円減少、為替換算調整勘定が５億８千４百万円減少したことなどにより、８億２百万円減少の３０７億３千２百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は４４億１千１百万円と、期首に比べて１千３百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が１１億３千６百万円、減価償却費５億２千２百万円、法人税等の支払額１１億５百万円などにより、３億４千９百万円の増加（前年同期は９億９千７百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得９億１千３百万円などにより、７億３千８百万円の減少（前年同期は８億６千１百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加８億１千７百万円、配当金の支払額３億１千６百万円などにより、４億９千４百万円の増加（前年同期は６千７百万円の減少）となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年３月期通期連結業績予想につきましては、平成26年５月９日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

## ２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年５月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年５月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第１四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第１四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が667,814千円増加し、利益剰余金が667,814千円減少しております。また、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,688千円増加しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成26年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成26年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,424,339 | 4,411,034 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,188,425 | 17,337,310 |
| 商品及び製品 | 1,392,679 | 1,469,136 |
| 仕掛品 | 1,292,862 | 1,284,158 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,655,705 | 2,635,520 |
| その他 | 4,908,190 | 5,462,496 |
| 貸倒引当金 | △42,474 | △54,450 |
| 流動資産合計 | 31,819,728 | 32,545,206 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,163,598 | 4,968,615 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 5,899,654 | 6,211,980 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 808,797 | 826,639 |
| 土地 | 10,456,799 | 10,433,996 |
| 建設仮勘定 | 1,827,832 | 1,958,897 |
| 有形固定資産合計 | 24,156,683 | 24,400,129 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 163,573 | 149,831 |
| その他 | 454,480 | 423,170 |
| 無形固定資産合計 | 618,054 | 573,001 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,794,932 | 3,685,547 |
| その他 | 681,718 | 683,811 |
| 貸倒引当金 | △32,184 | △31,753 |
| 投資その他の資産合計 | 4,444,466 | 4,337,605 |
| 固定資産合計 | 29,219,204 | 29,310,737 |
| 資産合計 | 61,038,933 | 61,855,944 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成26年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成26年６月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,245,306 | 8,840,075 |
| 短期借入金 | 4,452,772 | 5,441,572 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 682,950 | 527,600 |
| 未払費用 | 1,483,592 | 974,050 |
| 未払法人税等 | 1,464,198 | 775,591 |
| 賞与引当金 | 863,190 | 1,245,029 |
| その他 | 1,843,444 | 2,391,615 |
| 流動負債合計 | 19,035,454 | 20,195,535 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,392,182 | 3,226,029 |
| 役員退職慰労引当金 | 38,383 | 41,127 |
| 退職給付に係る負債 | 4,360,512 | 4,989,970 |
| その他 | 2,677,395 | 2,671,008 |
| 固定負債合計 | 10,468,473 | 10,928,136 |
| 負債合計 | 29,503,928 | 31,123,671 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,654,585 | 5,654,585 |
| 資本剰余金 | 849,597 | 849,597 |
| 利益剰余金 | 21,269,441 | 20,959,639 |
| 自己株式 | △34,487 | △35,086 |
| 株主資本合計 | 27,739,136 | 27,428,735 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 81,409 | 89,250 |
| 土地再評価差額金 | 2,471,580 | 2,471,580 |
| 為替換算調整勘定 | 1,937,413 | 1,352,917 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,718,001 | △1,609,861 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,772,401 | 2,303,886 |
| 新株予約権 | 57,981 | 65,121 |
| 少数株主持分 | 965,486 | 934,529 |
| 純資産合計 | 31,535,005 | 30,732,272 |
| 負債純資産合計 | 61,038,933 | 61,855,944 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成26年４月１日<br>至 平成26年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 17,432,795 | 17,682,763 |
| 売上原価 | 14,133,128 | 14,607,154 |
| 売上総利益 | 3,299,666 | 3,075,609 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造及び発送費 | 444,828 | 418,955 |
| 従業員給料及び賞与 | 406,078 | 442,268 |
| 法定福利及び厚生費 | 90,674 | 101,064 |
| 退職給付費用 | 28,084 | 26,100 |
| 賞与引当金繰入額 | 57,122 | 54,671 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 2,227 | 2,376 |
| 減価償却費 | 40,677 | 34,583 |
| 賃借料 | 43,292 | 38,244 |
| 消耗品費 | 31,952 | 35,410 |
| のれん償却額 | 13,742 | 13,742 |
| 貸倒引当金繰入額 | － | 11,997 |
| その他 | 585,828 | 563,986 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,744,508 | 1,743,403 |
| 営業利益 | 1,555,157 | 1,332,205 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9,763 | 16,148 |
| 受取配当金 | 2,256 | 2,305 |
| 持分法による投資利益 | 6,858 | － |
| 固定資産賃貸料 | 16,143 | 11,427 |
| 為替差益 | 296,620 | － |
| 助成金収入 | 5,308 | － |
| その他 | 39,038 | 58,600 |
| 営業外収益合計 | 375,989 | 88,482 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24,124 | 53,496 |
| 持分法による投資損失 | － | 40,095 |
| 為替差損 | － | 58,541 |
| その他 | 19,263 | 11,410 |
| 営業外費用合計 | 43,388 | 163,544 |
| 経常利益 | 1,887,758 | 1,257,143 |

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成26年４月１日<br>至 平成26年６月30日） |
|---|---|---|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 77 |
| 特別利益合計 | － | 77 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 261 | 79,064 |
| 建物解体費用 | － | 28,500 |
| 事業構造改善費用 | 42,147 | － |
| その他 | － | 13,380 |
| 特別損失合計 | 42,409 | 120,945 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,845,349 | 1,136,274 |
| 法人税等 | 632,911 | 435,238 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,212,437 | 701,036 |
| 少数株主利益 | 33,781 | 6,921 |
| 四半期純利益 | 1,178,656 | 694,114 |

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成26年４月１日<br>至 平成26年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,212,437 | 701,036 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25,833 | 7,841 |
| 為替換算調整勘定 | 780,913 | △530,953 |
| 退職給付に係る調整額 | － | 108,140 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 111,545 | △82,477 |
| その他の包括利益合計 | 918,292 | △497,449 |
| 四半期包括利益 | 2,130,730 | 203,586 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,978,269 | 225,600 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 152,461 | △22,013 |

## （３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成26年４月１日<br>至 平成26年６月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,845,349 | 1,136,274 |
| 減価償却費 | 444,356 | 522,472 |
| のれん償却額 | 13,742 | 13,742 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | － | 11,997 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 136,344 | － |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | － | 70,153 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 375 | 2,743 |
| 受取利息及び受取配当金 | △12,019 | △18,453 |
| 支払利息 | 24,124 | 53,496 |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | － | △77 |
| 有形固定資産除却損 | 261 | 79,064 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △6,858 | 40,095 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △1,042,313 | △455,444 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 32,365 | △128,727 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 905,382 | 736,351 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 51,311 | 100,184 |
| その他 | △542,293 | △673,833 |
| 小計 | 1,850,128 | 1,490,043 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12,019 | 18,453 |
| 利息の支払額 | △23,566 | △53,406 |
| 法人税等の支払額 | △841,068 | △1,105,877 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 997,512 | 349,212 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △618,610 | △913,714 |
| 有形固定資産の売却による収入 | － | 4,137 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △427,778 | △3,111 |
| その他 | 185,148 | 173,989 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △861,240 | △738,699 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 229,319 | 1,065,743 |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | － |
| 長期借入金の返済による支出 | △466,359 | △248,024 |
| 自己株式の取得による支出 | △556 | △599 |
| 配当金の支払額 | △268,933 | △307,131 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △54,227 | △8,942 |
| その他 | △6,709 | △6,546 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △67,465 | 494,499 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 191,409 | △118,317 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 260,215 | △13,305 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,959,755 | 4,424,339 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,219,971 | 4,411,034 |

## （３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日本 | 米州 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,706,588 | 2,249,744 | 4,476,461 | 17,432,795 | ― | 17,432,795 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 555,183 | ― | 89,738 | 644,922 | △644,922 | ― |
| 計 | 11,261,772 | 2,249,744 | 4,566,200 | 18,077,717 | △644,922 | 17,432,795 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,021,399 | △87,353 | 588,570 | 1,522,615 | 32,542 | 1,555,157 |

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成26年４月１日　至　平成26年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日本 | 米州 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,431,407 | 3,063,154 | 4,188,202 | 17,682,763 | ― | 17,682,763 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 851,100 | 18,307 | 195,071 | 1,064,479 | △1,064,479 | ― |
| 計 | 11,282,507 | 3,081,461 | 4,383,273 | 18,747,243 | △1,064,479 | 17,682,763 |
| セグメント利益 | 748,503 | 70,281 | 497,258 | 1,316,043 | 16,162 | 1,332,205 |

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第１四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が8,688千円増加しております。

平成26年8月7日
鬼怒川ゴム工業株式会社
コード番号　5196

参 考 資 料

# 平成27年3月期 第1四半期 決算概要

[連結決算]

## 1．業績

(単位:百万円)

| | 当第1四半期累計期間実績 (H26/4～H26/6) | | 前第1四半期累計期間実績 (H25/4～H25/6) | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売 上 高 | 17,682 | 100% | 17,432 | 100% | 250 | 1.4% |
| 営業利益 | 1,332 | 7.5% | 1,555 | 8.9% | △223 | △14.3% |
| 経常利益 | 1,257 | 7.1% | 1,887 | 10.8% | △630 | △33.4% |
| 四半期純利益 | 694 | 3.9% | 1,178 | 6.8% | △484 | △41.1% |
| 1株当たり四半期純利益 | 10.33 円 | | 17.53 円 | | △7.20 円 | |

## 2．貸借対照表

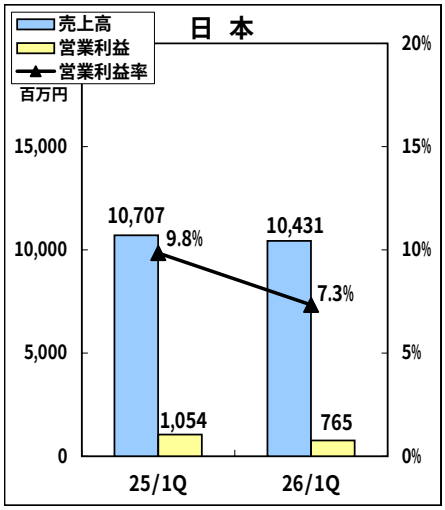
(単位:百万円)

| 資 産 の 部 | | | | 負債･純資産の部 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目 | 第1四半期 | 前期 | 増減 | 科目 | 第1四半期 | 前期 | 増減 |
| 流動資産 | 32,545 | 31,819 | 726 | 流動負債 | 20,195 | 19,035 | 1,160 |
| 現･預金 | 4,411 | 4,424 | △13 | 買入債務 | 8,840 | 8,245 | 595 |
| 売掛債権 | 17,337 | 17,188 | 149 | 借入金 | 5,969 | 5,136 | 833 |
| 棚卸資産 | 5,388 | 5,341 | 47 | その他 | 5,386 | 5,654 | △268 |
| その他 | 5,409 | 4,866 | 543 | 固定負債 | 10,928 | 10,469 | 459 |
| | | | | 借入金 | 3,226 | 3,392 | △166 |
| | | | | 退職給付負債 | 4,989 | 4,360 | 629 |
| | | | | その他 | 2,713 | 2,717 | △4 |
| | | | | (負債計) | 31,123 | 29,504 | 1,619 |
| 固定資産 | 29,310 | 29,219 | 91 | 株主資本 | 27,428 | 27,739 | △311 |
| 有形固定資産 | 24,400 | 24,157 | 243 | 資本金 | 5,654 | 5,654 | - |
| 無形固定資産 | 573 | 618 | △45 | 資本剰余金 | 850 | 850 | - |
| 投資その他 | 4,337 | 4,444 | △107 | 利益剰余金 | 20,959 | 21,269 | △310 |
| | | | | 自己株式 | △35 | △34 | △1 |
| | | | | 評価･換算差額等 | 2,304 | 2,772 | △468 |
| | | | | 新株予約権 | 65 | 58 | 7 |
| | | | | 少数株主持分 | 935 | 965 | △30 |
| | | | | (純資産計) | 30,732 | 31,534 | △802 |
| 合計 | 61,855 | 61,038 | 817 | 合計 | 61,855 | 61,038 | 817 |

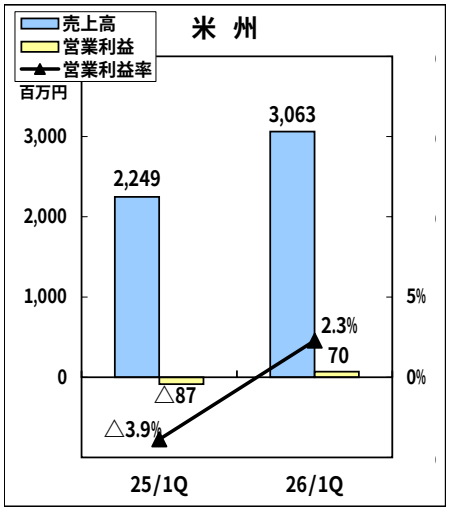
注) 主なB/S指標

| | | | |
|---|---|---|---|
| 自己資本比率 | 48.1% | 50.0% | △ 1.9% |
| 総資本回転率 | 1.1回 | 1.2回 | △0.1回 |
| 総資本経常利益率 | 8.2% | 14.7% | - |
| DER | 0.3倍 | 0.3倍 | 0.0倍 |

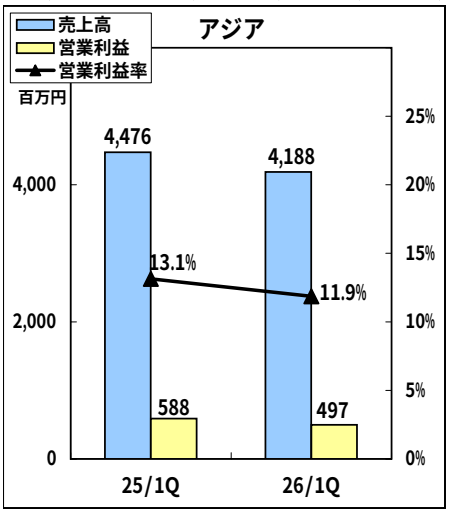
## 3．所在地別セグメント情報




操業度の低下と製品構成の変化により、減収減益となった。

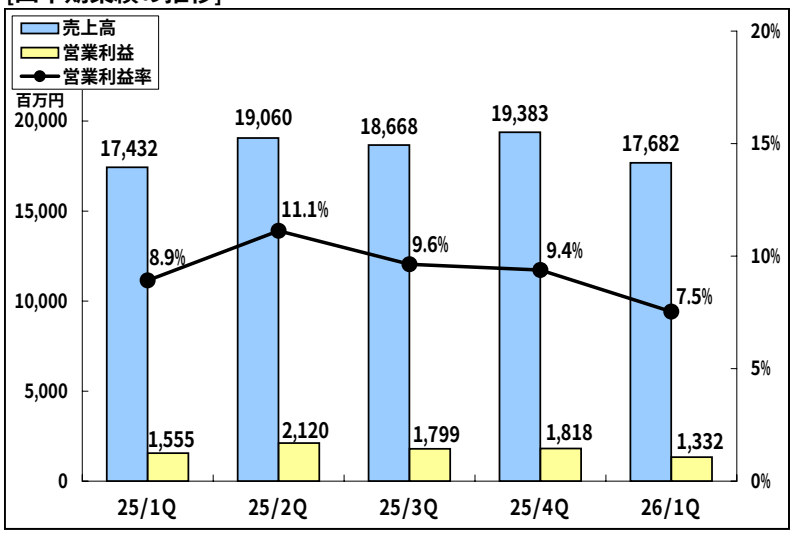



メキシコ拠点の操業度の上昇及び生産性の向上や歩留り上昇などの改善活動の効果により、増収増益(黒字化)となった。




タイでの生産の減少及び新拠点での新車部品生産立上げに伴うロスにより、減収減益となった。

### [四半期業績の推移]




### [当第1四半期の主な活動内容]

1．短期収益の確保
- 現地スタッフが自主自立で主導した、生産性の向上や廃却ロスの削減などの活動
- 資材、部品の現地化
  脂材料及び金具など、現地材料の採用を拡大

2．売上の拡大
- 重点顧客を中心とした受注拡大
  中国における日産及び日系メーカー、中国民族系メーカーへの車体シール部品の拡販
- 防振部品のグローバル拠点展開
  鬼怒川蕪湖(中国)で防振部品の生産を開始

3．仕事の質向上
- 拠点、設備、新車立上げ及び拠点運営の質の向上
  標準化･基準化･現地語化された手順書によるスキル向上
  生産管理システム･現場管理教育のグローバル展開